

テーマ：インシリコによる化学物質の毒性の予測と評価

内容：動物愛護が叫ばれる今日、近い将来、実験動物を使つての毒性試験が禁止される日は間違いなくやってきます。それに替わる方法の1つとしてインシリコ、QSAR、AI等のコンピュータ予測技術が注目されています。本セミナーでご講演の先生は、コンピュータモデルによる化学物質の発がん性や遺伝毒性の予測、ケモインフォーマティクスによるドラッグデザイン等の研究で多くの実績があります。今回、東京で開催されるアジア環境変異原学会への参加のために来日されました。多くの方の聴講をお待ちしています。

講演者 1

Dr. Romualdo Benigni

所属：Alpha-Pre Tox (Italy)

講演タイトル：Read Across: New Developments

略歴：1973年ローマ大学 (La Sapienza) で学位を取得後、イタリア国立健康研究所 (ISS) で約40年インシリコによる遺伝毒性、発がん性の予測研究に従事、2014年にOECD (パリ) でQSAR tool boxの開発に係わる。2016年にAlpha-Pre Tox社を設立



講演者 2

Dr. Jianhua Yao

所属：Shanghai Institute of Organic Chemistry (China)

講演タイトル：In silico Platform of Prediction of Toxicity

略歴：2000年にパリ第7大学で学位を取得 (Computer and Theory Chemistry)、現在、中国科学院上海有机化学研究所 教授

